東広島市史編さんだより

第３号　令和６（2024）年３月

昭和49（1974）年４月20日に西条町・八本松町・志和町・高屋町の４町が合併し東広島市が誕生しました。今年で市制施行50周年を迎えます。

今回の巻頭では昭和49年４月20日、21日の各社新聞記事から東広島市の誕生を祝うものを集めてみました。

毎日新聞 昭和49年４月21日

東広島市スタート

四町宣言、開庁式あげる

新市庁舎の標石の除幕（ハサミを入れるのは地土井市長職務代行者）

賀茂郡西条、八本松、志和、高屋四町が合併、緑に包まれた学園都市を目指す東広島市は二十日、新市庁舎の旧西条町役場で開庁式を行い新しいスタートを切った。

午前十時半からの開庁式に先立って、地土井久男市長職務代行者（前志和町長）が新庁舎正面広場の芝生内に立てられた標識の除幕。式には宮沢知事、郡内町長、議長、新市議ら約百二十二人が出席、地土井氏が「地方自治の発展と住民福祉の向上を目指して四町が大同合併し、今日ここに東広島市として発足したことを内外に宣言する」と新市発足を宣言した。

宮沢知事は「自然と空間に恵まれた美しい環境を持つ新市は広島大の統合移転で、さらに素晴しい発展が期待される。旧四町民が力を合わせて新しい町づくりに努力してほしい。県としても最大限の努力を惜しまない」と祝辞を述べた。最後に酒だるの鏡を抜き、新市の前途を祝福した。祝賀式は新市発足後に改めて行うことにしている。

読売新聞 昭和49年４月21日

おめでとう「東広島市」

市名標の除幕をする地土井市長職務執行者

賀茂郡西条、八本松、志和、高屋の四町合併による学園都市「東広島市」は二十日、県下で十二番目の市として誕生した。同日午前十時から市役所（旧西条町役場）で宮沢知事、旧四町長、市議（旧四町議）ら百二十人が出席して開庁式が行われ、統合移転して来る広島大を核とした「人と自然の調和ある街」の建設がスタートした。

フレッシュな門出

乾杯の鏡開きをする宮沢知事

中国新聞 昭和49年４月20日

産声あげた東広島市

東広島市PR特集 9～11面

▲明日へ向かってさあジャンプ

…さんが歩んだ一世紀

市で一番の長老

へえー、ここが市に

長生きはするもんよ

中国新聞 昭和49年４月20日

1 市史編さん専門部会の活動

東広島市史の「先行編」として、「酒」と「西条独創教育」をテーマにした『東広島の酒造り（仮題）』と『東広島教育の挑戦（仮題）』の２冊を、市制施行50周年記念事業として令和６年度に刊行します。

酒部会

江戸時代から現代までの東広島の酒造りの移り変わりについて執筆を進めています。

執筆にむけて、これまで古文書、行政文書、新聞記事の資料調査のほかに、元杜氏の方々への聞き取り調査を進めてきました。

大正～昭和前半の行政文書に記録されている事務報告や議会の議事録などを丁寧に読み解いていくことで、酒造りに命運をかけた当時の西条町の様子が分かります。また、情報提供をいただき調査をさせていただいたお宅から、これまで知られていなかった資料の発見もありました。「先行編」では、これらの資料調査の成果を活かし、東広島の歴史に酒造りの足跡を位置づけていきたいと考えています。

聞き取り調査では、木谷自治協議会にご協力をいただき、地区在住の元杜氏の方々から、現役だった昭和40年代～平成頃を中心に酒造界の状況や、杜氏として酒造りへの想いについてお話をお伺いしました。広島県内だけではなく、全国の酒蔵で活躍し、戦前には海外で酒造りを行っていたことなど、多くの貴重なお話をお聞きすることが出来ました。

行政文書の調査

三浦仙三郎翁銅像（絵葉書）

元杜氏の方々への聞き取り調査

酒銘「こぞの雪」　醸造元　三浦仙三郎

西条独創教育部会

大正時代に西條尋常高等小学校で檜高校長により実践された「西条独創教育」を中心に、明治時代の学校教育のはじまりから現在まで、東広島の教育の歴史について執筆を進めています。

これまで、西条小学校に残されている「西条教育研究会記録」などの資料調査のほかに、東広島市内全小学校の沿革誌の調査を実施し、本市域で行われてきた教育活動について情報を集めました。

このほか、昭和20年代～平成頃までの東広島の教育のことを知るため、教員経験者の方々から聞き取り調査を行いました。

その中でも、檜高校長とともに戦前に「西条独創教育」を実践された堀越敬實氏からの聞き取りは大変貴重な体験でした。

105歳を超えてもお元気な堀越氏。これまでも様々な場面で「西条独創教育」や、東広島の教育について語ってこられました。

また、対談者である山内吉治氏とは、高屋西小学校時代の恩師と教え子という関係でもあります。東広島の教育の生き字引の２人が語られる、戦前と戦後で教育が大転換した中、どう子どもたちを育み、教員の指導力向上に取り組んできたかのお話からは、東広島の教育の土台となるものを感じとることが出来ました。

小学校での資料調査

卒業式の記念写真より（昭和19年頃）
［左：檜高校長　右：堀越敬實氏］

聞き取り調査（中央：堀越氏、右：山内氏）

上記でご紹介した両部会が行った資料調査や聞き取り調査での成果を取り入れ、平易な文章とオールカラーの紙面で、親しみやすい「先行編」を皆様にお届けしたいと考えています。

市制施行50周年を迎えましたが、私達を取り巻く社会や環境は今まで以上のスピードで変化していくと予想されます。まず、「先行編」により東広島の酒と教育の歴史を掘り起こし、今後刊行していく「資料編」・「通史編」へと繋いでいきます。

2 市史の資料を集めています

資料を求める呼びかけに応じていくつか資料提供をいただいております。
ご協力頂いている皆様に感謝申し上げます。

市史編さん室ではまちの歴史や東広島市らしさを
語ってくれる次のような資料を探しています。

- **古い書物**
- **亡くなった家族の手紙や日記**
- **昔行われていた行事のチラシや新聞記事**
- **東広島市域で撮影された風景写真や家族写真**
- **古い絵葉書**
- **古い家並みなどを記した地図や絵図**
- **和紙に墨で書かれた書状や帳面**

このような資料があるときは、
ぜひ市史編さん室にご連絡ください。
皆様の情報提供をお待ちしています。

事務局通信

令和６年１月１日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらしています。地震による災害で亡くなられた方々へお悔み申し上げるとともに、被災地で現在も不自由な生活を強いられている皆様へ心よりお見舞い申し上げます。平成30年の西日本豪雨では中国地方も被災地となりました。昨年調査に訪れたお宅には被災した際の水位を示す痕跡が残っており、当時の話もお聞きして被害の大きさを思い知らされました。

今回表紙に取り上げた中国新聞の記事は、あるお宅での史料調査の際に見つかったものです。経年により日焼けしていましたが、記事の内容からは当時の雰囲気が伺えました。

東広島市史編さんだより－第３号－

発　行　日　令和６（2024）年３月31日
編集・発行　東広島市教育委員会 生涯学習部 文化課 市史編さん室
〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
TEL: 082-420-0977　FAX: 082-422-6531
E-mail: hgh200977@city.higashihiroshima.lg.jp
印　　刷　一般社団法人東広島自立支援センターあゆみ